

平成28年度県立西崎特別支援学校 学校評価（自己評価：職員） ※108名回答※

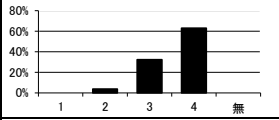
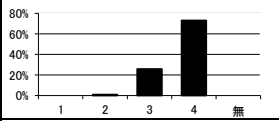
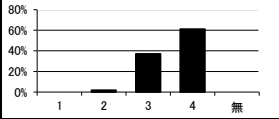
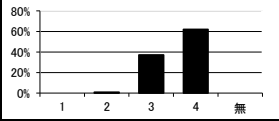
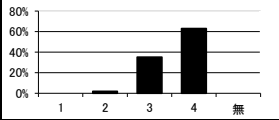
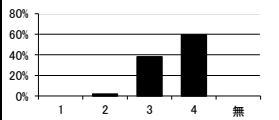
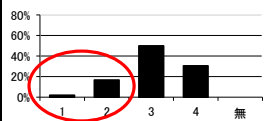
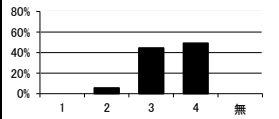
( H29. 3. :資料 )

【評価点】 1「達成できない」、2「あまり達成できない」、3「ほぼ達成」、4「達成できた」

評価項目	具体的目標	具体的方策	集計数					グラフ表示
			1	2	3	4	無回答	
1 教育目標	① 健康で明るい生活をするために、必要な体力と安全な生活態度を育てる。 ② 身辺の処理などの望ましい生活習慣の形成を図る。 ③ みんなと仲良く協力し合っ て、集団生活ができるような能力や態度を育てる。 ④ 働くことに喜びを見だし、ねばり強くやりとげる 意欲を育てる。	1 一人一人の幼児児童生徒の実態に即した具体的な個別目標が設定されている。	0	4	59	45	0	
		2 指導に関わる全教職員で幼児児童生徒の個別目標について共通理解が図られている。	1	18	62	25	2	
		3 個別の指導計画を活用し、幼児児童生徒の障害の状態とその特性に応じた適切な指導が行なわれている。	0	12	60	36	0	
		4 個別の教育支援計画、個別の指導計画の活用を通して、学年間・学部間の連携が図られている。	0	25	58	25	0	
2 教育計画	① 年間指導計画の作成 ② 教育課程の完全実施	5 具体的な内容が年間を通して配列されている。	1	3	60	43	1	
		6 学校行事等と関連した計画が考慮されている。	1	4	52	50	1	
		7 計画された通りに授業時数を確保することができる。	0	7	55	45	1	
3 教科別の指導、領域別の指導	「生きる力」を重視し、基礎的・基本的事項の徹底を図る。	8 学習指導要領に示す各教科等の内容を踏まえた指導がなされている。	0	8	64	36	0	
		9 幼児児童生徒の生活に密着した具体的な指導内容となっている。	0	4	57	46	1	
		10 職員相互の共通理解の下、指導の連携が図られている。	0	9	56	43	0	
		11 個別の目標に沿った適切な評価がなされている。	0	6	58	44	0	
4 各教科等を合わせた指導	「生きる力」を具体化し、実際の、体験的な活動を通して幼児児童生徒が主体的に学習活動に取り組めるようにする。	12 発達段階や経験などを踏まえ、生活に結び付いた内容を中心に構成されている。	0	4	64	40	0	
		13 個々の実態に即した望ましい生活習慣の形成を図り、繰り返し、発展的・段階的な指導が行なわれている。	0	5	66	37	0	
		14 職員相互の共通理解や指導体制の連携が図られている。	0	9	55	44	0	

評価項目	具体的目標	具体的方策	集計数					グラフ表示
			1	2	3	4	無回答	
5 特別活動 (行事・児童生徒会)	集団活動を通して、社会性を養い、望ましい人間関係を育てる。	15 行事の目標や指導内容を幼児児童生徒の実態に沿って設定がなされている。	0	10	56	42	0	
		16 生活単元学習等との連携が図られている。	0	6	51	51	0	
		17 職員相互の共通理解や指導体制の連携が図られている。	0	8	56	44	0	
6 交流及び共同学習	継続的で多様な交流及び共同学習の推進に努める。	18 交流及び共同学習において、幼児児童生徒の個々の目的をふまえた交流が行われている。	0	11	61	36	0	
7 生徒指導 (生活指導)	幼児児童生徒の発達や特性に応じて基本的な生活習慣を身につけるとともに、好ましい人間関係を確立する。	19 幼児児童生徒の実態に合った目標や指導内容となっている。	0	4	66	38	0	
		20 職員相互の共通理解の下、一人一人の指導が協同体制で行われている。	1	6	57	44	0	
		21 家庭や施設との連携が図られている。	0	8	52	48	0	
8 教育相談	教育支援体制を整え、校内及び地域・関係機関との連携の充実に努める。	22 学年、学部間、保護者、関係機関等との連携に努めている。	0	2	52	54	0	
		23 特別支援教育のセンター的機能の充実に努めている。	0	11	54	43	0	
9 キャリア教育・進路指導	幼稚園から高等部まで一貫したキャリア教育の視点による指導に努める。	24 幼児児童生徒一人一人が主体的に学ぶ意欲や態度の育成、学習できる場の工夫が行われている。	0	3	68	37	0	
		25 個別の教育支援計画の目標を子どもと共有し、活用している。	1	29	52	25	1	
		26 学年、学部間、保護者、関係機関等との連携に努めている。	0	5	61	42	0	
10 安全指導 (保健安全)	健康で明るい生活をするために、必要な体力と安全な生活態度を育てる。	27 幼児児童生徒一人一人の健康の保持増進や体力の向上を目指した教育計画のもとに実践されている。	0	4	59	45	0	
		28 災害時(訓練時)に幼児児童生徒一人一人の実態に即した避難行動等の対応が行われている。	0	5	49	54	0	
		29 通学路等、学校内外の危険箇所を把握して、安全指導に努めている。	1	15	53	39	0	

評価項目	具体的目標	具体的方策	集計数					グラフ表示
			1	2	3	4	無回答	
11 環境美化 (環境整備)	清掃活動や緑と季節の花のある環境づくりに努める。	30 清掃活動を通して、校内の環境が整えられている。	1	9	50	47	1	
		31 教育活動全般を通して、校内緑化に努めている。	2	12	48	46	0	
12 校内研修	学校教育目標や学校課題にそった研究主題を推進する。	32 幼児児童生徒に目的目標を明示し、学習活動の振り返りで達成感を実感できる時間や場の設定を行っている。	0	3	69	36	0	
		33 様々な研修や授業検討会を通して、より主体的な授業づくりの工夫改善に努めている。	0	6	58	44	0	
13 家庭、地域社会との連携	保護者や地域社会と連携し、創意的な学校経営に努める。	34 連絡帳や学級通信等で家庭との連携が図られている。	0	4	32	72	0	
		35 地域社会との連携が図られている。	2	31	46	28	1	
14 特色ある学校づくり	ICT活用の推進	36 幼児児童生徒の自立・社会参加に向けたICT活用が、積極的に取り組まれている。	4	31	53	20	0	
	読書活動の推進	37 学級活動や各教科等で図書室利用や読書活動が積極的に取り入れられている。	0	12	54	41	1	
15 学校運営・その他	① 文書・予算処理	38 文書・報告・研究会等の情報は、速やかに周知・伝達がなされている。	0	6	56	46	0	
		39 提出文書などの作成・整理・保管等、事務と連携しながら適切に処理がなされている。	0	4	58	46	0	
		40 予算の執行計画、手続きなど事務と連携し、適切に行われている。	0	3	51	53	1	
	② 施設・設備・備品	41 教育活動を効果的に行うために、教材教具等を有効に活用し、整理・保管等が適切に行われている。	2	6	67	32	1	
		42 校舎内外の施設・設備の点検を定期的に行い、適切な安全管理がなされている。	0	4	47	57	0	
		43 事務と連携し、備品台帳の整備を行い、備品の登録廃棄等が適切に行われている。	0	6	56	46	0	

評価項目	具体的目標	具体的方策	集計数					グラフ表示
			1	2	3	4	無回答	
15 学校運営・その他	③ 給食	44 メニューの工夫などに積極的に取り組み、栄養職員、担任との連携が図られている。	0	4	35	68	1	
		0%	4%	32%	63%			
	45 給食に関する安心・安全の確保に努め、円滑な給食活動が進められている。	0	1	28	79	0		
		0%	1%	26%	73%			
	④ スクールバス	46 児童生徒の送迎で、バス部・保護者・担任との連携が図られている。	0	2	40	66	0	
		0%	2%	37%	61%			
	47 安全確保に努め、児童生徒と運転手・介助員との関わりがよく図られている。	0	1	40	67	0		
		0%	1%	37%	62%			
	⑤ その他	48 図書室は幼児児童生徒が利用しやすいように、本の紹介や書架の整理、掲示等が工夫されている。	0	2	38	68	0	
		0%	2%	35%	63%			
		49 校内での安全運転が守られている。	0	2	41	64	1	
		0%	2%	38%	59%			
50 学校内はきちんと清掃されている。	2	18	54	33	1			
	2%	17%	50%	31%				
51 来客者への接遇に配慮がなされている。	0	6	48	53	1			
	0%	6%	44%	49%				